

## 基本目標8 男女共同参画を進める教育と学習の推進

子どもたちが、性別に基づく役割を固定した考え方にしばられることのないよう、学校や地域、家庭において男女平等について学べる機会を提供します。また、働くことの意義と重要性を理解し、子ども一人ひとりの個性や能力が活かせる将来の人生設計が描けるようなキャリア教育を進めます。また、「男らしさ」を背景とした男性ゆえの生きづらさを解消し、自分らしい生き方が選択できるよう、啓発活動や学習機会の提供等を行います。

### 施策の基本的方向・具体的施策・施策内容

#### 19 子どもの頃からの男女平等への理解の促進と将来を見通した自己形成支援

##### (47) 男女平等を推進する保育・教育の充実

124	人権尊重を基盤にした男女平等観の形成を図るための保育や教育を充実します
125	保育所(園)、幼稚園、学校等での固定的な性別役割分担意識の解消に努めます
126	男女平等についての理解を深めるため、保育・教育関係者に対する研修を充実します
127	男女平等の視点に配慮した教育相談を実施します

##### (48) 性別にとらわれないキャリア教育の推進

128	子どもたちが、社会人・職業人として自立していけるよう、年齢に応じたキャリア教育を推進します
129	中学校の職場体験学習を充実し、働くことへの理解を深めます

##### (49) 様々な人との共生への取組の推進

130	外国にルーツを持つ子どもたちが自尊感情を高め、主体性を確立するための支援を行うとともに、子どもたちが豊かに共生する心を育む多文化共生の取組を推進します
131	多様な性のあり方への理解を深めるための啓発を推進します

#### 20 男性にとっての男女共同参画の推進

##### (50) 男性にとっての男女共同参画に関する啓発や学習機会の提供

132	男性にとっての男女共同参画の意義について理解を促進するための学習機会を提供します
133	男性が家事、育児、介護等、生活者としての能力をつけるための学習機会を提供します
134	市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、男性中心の働き方等を前提とした労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについての啓発や情報提供を推進します

##### (51) 男性のネットワーク支援

135	若者、子育て中の父親、定年前後の男性、介護を担う男性等のネットワークづくりを支援します
-----	---

##### (52) 男性の男女共同参画に関する情報収集と発信

136	固定的な性別役割分担意識が男性にもたらす重圧や男性の心身の健康の問題等、男性に関する情報の収集及び発信をします
-----	---

## 21 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

### (53) 生涯学習に関する情報提供と学習機会の提供

137	生涯学習に関する情報を、様々な機会、媒体を通して提供します
138	ローズWAMや社会教育施設等において男女共同参画をテーマにした講座を充実します
139	社会教育関係団体のリーダーに対して男女共同参画に関する研修を充実します
140	様々な学習機会にだれもが参加しやすいように、一時保育の実施や開催日時・場所等について工夫します。また、子育て世代が講演会や審議会等へ参加できるように、関係課からの依頼により保育ボランティア等を派遣して一時的に子どもを預かる出前型一時保育を実施します
141	ローズWAM等を活用して、女性の芸術や文化、ものづくり等の表現活動を支援します

### (54) 女性のチャレンジに関する情報提供と講座の開催

142	セミナーやイベントの企画・運営等の実践的な活動を通して、女性のエンパワーメント支援をします
143	様々なチャレンジに関する情報を収集し、多様な媒体を通じて情報提供をします
144	働く女性のための講座や、再就職を希望する女性のための講座等を開催します

### (55) 子どもや若者のための学習や体験活動の推進

145	子どもたちが学習や体験活動を通して男女平等や男女共同参画について学べる機会を充実します
146	若者の自立に向けての支援をします

### (56) 生きる力を育む家庭での男女共同参画の推進

147	男女共同参画の視点に配慮した家庭教育学級の取組を推進します
148	家庭教育学級指導者に対して男女共同参画に関する情報提供や研修の機会を充実します
149	男女共同参画の視点に配慮した家庭での教育の推進ができるように子育て中の男女への学習機会を確保します

## 施策の基本的方向16 子どもの頃からの男女平等への理解の促進と 将来を見通した自己形成支援

### (具体的施策 47)男女平等を推進する保育・教育の充実

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
124	人権尊重を基盤にした男女平等観の形成を図るための保育や教育を充実します	公立幼稚園・公立認定こども園において、人権教育を推進するにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら日々の保育の中で取り組む。 公立保育所において、「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、日々の保育の中で取り組む。	様々な遊びや活動を通して、一人ひとりに応じた総合的な指導を行いながら、幼児同士が温かい人間関係を結んでいけるような仲間づくりに努めた。	継続	保育幼稚園総務課
		市内30小学校で学童保育室を運営し、児童の受け入れを行った。 【再掲 施策番号26】	平成30年度から平成31年度にかけて受入可能人数を112人増加させたが、4月1日時点の待機児童数が8人から10人に増加した。 引き続き小学校に余裕教室がない学童保育室の受入可能人数を増加させる方策の検討が必要である。	拡充	学童保育課
		すべての市立小・中学校において人権教育年間指導計画を作成し、推進を図った。	すべての市立小・中学校において人権教育年間指導計画を作成することで人権尊重を基盤にした男女平等観の形成を図ることができた。	継続	学校教育推進課
125	保育所(園)、幼稚園、学校等での固定的な性別役割分担意識の解消に努めます	公立幼稚園・公立認定こども園において、人権教育を推進するにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら日々の保育の中で取り組む。 公立保育所において、「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、日々の保育の中で取り組む。【再掲 施策番号124】	男女の区別なく、一人ひとりが大切な仲間であるということ、遊びを中心とした生活の中で、認識できるよう努めた。	継続	保育幼稚園総務課
		市内30小学校で学童保育室を運営し、児童の受け入れを行った。 【再掲 施策番号26】	平成30年度から平成31年度にかけて受入可能人数を112人増加させたが、4月1日時点の待機児童数が8人から10人に増加した。 引き続き小学校に余裕教室がない学童保育室の受入可能人数を増加させる方策の検討が必要である。	拡充	学童保育課
		男女混合名簿や性別によらない色分け等、日々の活動における固定的性別役割分担意識の解消を図った。	男女混合名簿や性別によらない色分け等の取り組みにより、日々の活動における固定的性別役割分担意識の解消を図ることができた。	継続	学校教育推進課
126	男女平等についての理解を深めるため、保育・教育関係者に対する研修を充実します	関係団体を対象としたスキルアップ研修において「人権・守秘義務」のテーマで開催をした。 〔開催〕 令和元年5月27日 令和元年9月20日	子育て支援関係者に対して、人権に関する研修受講の機会を提供できた。	縮小	子育て支援課

126	男女平等についての理解を深めるため、保育・教育関係者に対する研修を充実します	公立幼稚園・公立認定こども園において、教員及び市職員対象の人権研修に積極的に参加した。また、園内研修の充実も図った。 保育所において、全保育職員対象の人権保育研修を実施し、市職員対象の人権研修を受講した。	公立幼稚園・公立認定こども園において、園内研修の実施や教員及び市職員対象の人権研修を受講し、理解を深めた。 保育所において、保育所全職員対象の人権保育研修や市職員対象の人権研修を受講し、虐待が子どもの発達に及ぼす影響や保護者との関係が築きにくい場合の対応の仕方や支援方法についてより理解が深まった。	継続	保育幼稚園総務課
		教職員に対して、人権研修を実施した。 ①教頭人権教育研修会 〔実施日〕令和元年5月27日 〔対象〕小中学校教頭 〔テーマ〕「セクシュアル・ハラスメントの防止について」 ②人権教育研修C 〔実施日〕令和2年1月28日 〔対象〕小中学校教職員 〔テーマ〕男女共同参画社会をめざす学校づくり	人権研修を行うことができた。しかし、研修の内容を各校の教職員に伝達していくことが課題である。	継続	学校教育推進課
		人権意識・人権感覚を育む学級づくりに関する研修を実施し、指導力向上に努めた。 〔実施日〕令和元年8月5日 〔テーマ〕人権意識・人権感覚を育む学級づくりについて 〔講師〕元関西大学 講師 磯野 雅治 氏 〔対象〕市立小・中学校教職員 〔参加者〕26人	人権意識や人権感覚についての理解また、それを育む学級づくりについて学ぶことができた。今後も継続して研修の充実を図る。	継続	教育センター
127	男女平等の視点に配慮した教育相談を実施します	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して、こころのケアを図った。	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して、こころのケアを図ることができた。	継続	学校教育推進課
		幼児・児童・生徒・保護者・教職員の教育に関する悩みについて、教育相談を実施した。 〔相談実施内容・件数・回数〕 ①電話教育相談 153件 169回 ②面接相談 130件 2,163回 ③言語教育相談 135件 770回 ④不登校相談 48件 520回 ⑤発達相談 849件 3,589回 ⑥巡回相談 46校に123回実施 ⑦特別教育相談 13回実施31ケース	対前年比で、件数は97.8%、回数は101.6%で、微増となった。充実した教育相談を実施できるよう、引き続き所内研修会等で相談員の資質向上を図る。	継続	教育センター

(具体的施策 48) 性別にとらわれないキャリア教育の推進

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
128	子どもたちが、社会人・職業人として自立していけるよう、年齢に応じたキャリア教育を推進します	主体的に活動する環境を整え、遊びを中心とした生活の中で、「幼児期に育みたい資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育みたい10の姿」を意識した保育・教育の推進を図った。	「幼児期の終わりまでに育みたい10の姿」をふまえて「幼児期に育みたい資質・能力」を意識した保育・教育を推進することで、小学校への学びの連続性について理解を深めることができた。 更に小学校とのつながりを意識して「学びに向かう力」を育てていくために非認知能力についても実践的な取り組み等を考えていく。	継続	保育幼稚園総務課
		市内14中学校区で、キャリア教育全体計画を作成し、それにもとづきキャリア教育の推進を図った。	市内14中学校区で、キャリア教育全体計画を作成することで、年齢に応じたキャリア教育を推進することができた。	継続	学校教育推進課
129	中学校の職場体験学習を充実し、働くことへの理解を深めます	全中学校で職場体験学習を実施した。	全中学校で職場体験学習の実施をすることで働くことへの理解を深めることができた。	継続	学校教育推進課

(具体的施策 49)様々な人との共生への取組の推進

	施策内容	令和元年度の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
130	外国にルーツを持つ子どもたちが自尊感情を高め、主体性を確立するための支援を行うとともに、子どもたちが豊かに共生する心を育む多文化共生の取組を推進します	幼児が異文化に触れる機会を取り入れ、日々の保育の中で指導内容や指導方法について工夫した。	日々の保育実践を工夫するとともに、必要に応じて幼児及びその保護者に対して、通訳者の派遣を実施することにより、友だち、家族、地域など社会とのつながりについて丁寧に伝えることができた。	継続	保育幼稚園総務課
		各校で外国にルーツを持つ子どもたちを対象にワールド教室を実施した。	ワールド教室を実施することで外国にルーツを持つ子どもたちの自尊感情を高め、主体性を確立するための支援を行うことができた。	継続	学校教育推進課
131	多様な性のあり方への理解を深めるための啓発を推進します	広く市民等を対象に、性的マイノリティに関する講座等を開催した。 【再掲 施策番号44】	どの講座も参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のセクシュアルマイノリティへの関心や理解が高まっていることがうかがえる。今後もさまざまな主体と連携しながら、啓発や支援を検討していきたい。	拡充	人権・男女共生課
		公立幼稚園・公立認定こども園において、人権教育を推進するにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら日々の保育の中で取り組んだ。 公立保育所において、「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、日々の保育の中で取り組んだ。 【再掲 施策番号124】	様々な遊びや活動を通して、一人ひとりを大切にしながら、幼児同士が温かい人間関係を結んでいけるような仲間づくりに努めた。また、互いの良さや違いに気づき、認め合えるような保育・教育を推進することができた。	継続	保育幼稚園総務課
		さまざまな人権学習の具体的な取組みのモデル案を示した「人権教育授業プラン集パートⅡ」を教職員に配布し、人権課題の一つであるセクシャルマイノリティへの理解促進を図った。	「人権教育授業プラン集パートⅡ」を活用することで多様な性のあり方への理解を深めることができた。	継続	学校教育推進課

施策の基本的方向20 男性にとっての男女共同参画の推進

(具体的施策 50)男性にとっての男女共同参画に関する啓発や学習機会の提供

	施策内容	令和元年度の取組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
132	男性にとっての男女共同参画の意義について理解を促進するための学習機会を提供します	料理未経験者や経験者のレベルに合わせた講座を開講し、男性の料理技能向上の機会を提供した。 【再掲 施策番号30】	引き続き、生涯学習の取組を通じて、男性の技能向上の機会を提供できるように努める。	継続	文化振興課
		男性の家事参画・仕事以外の活動参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】	どの講座も参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画、仕事以外の活動参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。	継続	人権・男女共生課

132	男性にとっての男女共同参画の意義について理解を促進するための学習機会を提供します	男性の子育て参画を推進するための講座を子育て支援課と連携し開催した。 【再掲 施策番号20】	参加者の満足度は100%と高いが、申込者数が少ないので、より多くの方に参加いただくことが課題である。日程や内容、周知方法等を工夫し、参加者の増を図りたい。	継続	人権・男女共生課
133	男性が家事、育児、介護等、生活者としての能力をつけるための学習機会を提供します	料理未経験者や経験者のレベルに合わせた講座を開講し、男性の料理技能向上の機会を提供した。 【再掲 施策番号30】	引き続き、生涯学習の取組を通じて、男性の技能向上の機会を提供できるように努める。	継続	文化振興課
		男性の家事参画・仕事以外の活動参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】	どの講座も参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画、仕事以外の活動参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。	継続	人権・男女共生課
		男性の子育て参画を推進するための講座を子育て支援課と連携し開催した。 【再掲 施策番号20】	参加者の満足度は100%と高いが、申込者数が少ないので、より多くの方に参加いただくことが課題である。日程や内容、周知方法等を工夫し、参加者の増を図りたい。	継続	人権・男女共生課
		出前講座を通して介護保険サービスに関する情報を提供した。 【再掲 施策番号30】	令和元年度は出前講座を13回実施し、参加者345人に対して高齢者福祉サービスに関する情報提供をした。引き続き出前講座を通して高齢者福祉サービスの啓発に努める。	継続	長寿介護課
		妊娠中から出産・育児について、知識・技術を学ぶ両親教室（パパ&ママクラス）を実施する。 【再掲 施策番号30】	参加者の97.2%がパートナーと同伴している。アンケートでは、参加動機が「育児体験」と回答したパートナーは51.9%いた。「育児体験」がためになったと回答したパートナーは12.9%であったが、「沐浴」と回答したパートナーは40.2%おり、男性への育児参加の意識啓発や導入を行うことができたと考えている。引き続き、パートナーが参加しやすい日程開催と育児体験の場を提供していく。	継続	保健医療課
		つどいの広場等において、父親も参加できる学習機会を設ける活動を実施する。 【再掲 施策番号30】  市内8か所の公立高校・中学校で、子育て中の親子と関わる機会をもつ「ふれあいまなび事業」を実施した。 【再掲 施策番号30】	つどいの広場では、土曜日などに父親も参加しやすいイベントを企画し、男性の子育て参加の促進をすることができた。男性の子育てに対する意識が高まり、男性参加者数が増えている。 【再掲 施策番号30】  各高校のカリキュラムや中学の実施計画により、実施回数は左右されるが、前年度よりも実施回数が増となった。 【再掲 施策番号30】	継続	子育て支援課

133	男性が家事、育児、介護等、生活者としての能力をつけるための学習機会を提供します	男性の子育てを推進するための事業「パバスクール」を業務委託によって実施した。 【再掲 施策番号29】	参加者は、意欲が高く積極的に取り組むが、テーマ「親子遊び」以外は参加者が極端に少なく、父同士の交流等を図ることが困難であった。今後は、パバスクールを廃止し、知って得する子育て講座の中で、単発のテーマとして実施する。	継続	子育て支援課
		「家庭教育講座」・「家庭教育学級」を通じて、保護者（男女問わず）を対象に技能向上の学習機会を提供した。 【再掲 施策番号30】	家庭教育に関する学習の機会を提供できた。今後も、現代的課題や社会情勢の変化に応じた事業となるよう、検討していく。	継続	社会教育振興課
		市又は市民で構成された団体からの要請に基づき、対話や交流を通じて親のあり方を学ぶ学習機会を提供する「親まなびおでかけ講座」を実施した。 【再掲 施策番号30】	大阪府教育委員会作成の親学習教材を用いて、親まなびサポーターの進行のもと、保護者同士が対話することで、子育てについて考える機会となっている。引き続き、出前講座としての周知や市内大学との連携、地域での公民館での実施等により受講対象者拡大を図るとともに、サポーターの増員を図っていく。	拡充	社会教育振興課
134	市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、男性中心の働き方等を前提とした労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについての啓発や情報提供を推進します	市内企業の若手従業員を対象とした、市長とのタウンミーティングに参加した。 【再掲 施策番号20】	企業の従業員の声を直接聞くことで、働く若い世代の方の意識や、働く環境について知ることができた。	未定	人権・男女共生課
		広報誌・ホームページ等を活用し、市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについて、啓発や情報提供を行った。 【再掲 施策番号14】  働きやすい職場づくり推進事業所認定制度を実施した。 【再掲 施策番号3】	啓発活動やインセンティブの拡充等により、働きやすい職場づくり推進事業所について、新たに5事業所を認定し、認定事業所は延べ14事業所となった。広報誌・ホームページ等を活用し、市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについて、啓発や情報提供を行う。	継続	商工労政課

(具体的施策 51) 男性のネットワーク支援

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
135	若者、子育て中の父親、定年前後の男性、介護を担う男性等のネットワークづくりを支援します	男性の家事参画・仕事以外の活動参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】	どの講座も参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画、仕事以外の活動参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。	継続	人権・男女共生課
		男性の子育て参画を推進するための講座を子育て支援課と連携し開催した。 【再掲 施策番号20】	参加者の満足度は100%と高いが、申込者数が少ないので、より多くの方に参加いただくことが課題である。日程や内容、周知方法等を工夫し、参加者の増を図りたい。	縮小	人権・男女共生課

(具体的施策 52) 男性の男女共同参画に関する情報収集と発信

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
136	固定的な性別役割分担意識が男性にもたらす重圧や男性の心身の健康の問題等、男性に関する情報の収集及び発信をします	男性の家事参画・仕事以外の活動参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】	どの講座も参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画、仕事以外の活動参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。	継続	人権・男女共生課

施策の基本的方向21 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

(具体的施策 53) 生涯学習に関する情報提供と学習機会の提供

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
137	生涯学習に関する情報を、様々な機会、媒体を通して提供します	「生涯学習情報誌」や「きらめきだより」、ホームページで情報の発信を行った。	引き続き、生涯学習情報発信については、情報誌発行やHPを活用し、SNS等を活用し更なる発信に努める。	継続	文化振興課
137	生涯学習に関する情報を、様々な機会、媒体を通して提供します	都市づくり、まちづくりの主体となる市民との連携・協働を推進する。インターネット等を通じて、分かりやすく使いやすい都市計画情報を提供した。自主的なまちづくり活動の芽を育てるためまちづくりや暮らしに役立つことを誰もが学べる機会を提供した。まちづくりに関する意見交換を通じて人と人のつながりが増え、共感が生まれる「交流の場」を提供した。住民による自主的なルールづくりの取組に対し、協議の場や勉強会等の開催、まちづくりの専門家の派遣など合意形成などについて支援した。 【再掲 施策番号101】	自らの住むまちをより良くしていく活動である「まちづくり」については、行政など特定の主体だけが担うものではなく、そこで暮らす市民を中心とした様々な主体が（もちろん男女ともに手を取り合って）担っていくべきものである。そうした認識から、市民主体でのまちづくり活動の機運が高まるような支援を行ってきたところであり、具体的には、市民向けのまちづくり講座「いばらきまちづくりラボ」や、東芝工場跡地における今後のまちづくりについて考える「太田知恵の和」の開催、郊外部の住宅地における暮らしやすさの低下への予防的対応、まちなかスポットを使ってにぎわいを創出する社会実験などが挙げられる。今後の方向性としては、機運を高める支援を継続・拡大していくことに加え、今年度専門家派遣に係る予算拡充を行っており、そうした制度も活用しながら、機運が高まった後の具体的な活動への支援についても取組を強化していく。	拡充	都市政策課
138	ローズWAMや社会教育施設等において男女共同参画をテーマにした講座を充実します	料理未経験者や経験者のレベルに合わせた講座を開講し、男性の料理技能向上の機会を提供した。 【再掲 施策番号30】	引き続き、講座を開講し、男性の技能向上の機会を提供できるように努める。	継続	文化振興課
138	ローズWAMや社会教育施設等において男女共同参画をテーマにした講座を充実します	広く市民等を対象に、男女共同参画週間記念講演会や男女共同参画基礎講座など、男女共同参画に関する講座等を開催した。 年間開催回数 174回 のべ8,097人参加	新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月から臨時休館・主催講座中止としたため、講座の実施回数・参加人数は昨年度と比較して減少している。時代にあった内容、啓発方法を検討し、市民の方が参加したいと思う企画をたてる必要がある。	継続	人権・男女共生課
138	ローズWAMや社会教育施設等において男女共同参画をテーマにした講座を充実します	「家庭教育講座」・「親まなびおでかけ講座」等、保護者（男女問わず）を対象に家庭での子育てや教育に関する講座を実施した。 【再掲 施策番号30】	家庭教育に関する学習の機会を提供できた。今後も、現代的課題や社会情勢の変化に応じた事業となるよう、検討していく。	継続	社会教育振興課

138	ローズWAMや社会教育施設等において男女共同参画をテーマにした講座を充実します	乳幼児と保護者が一緒に参加できる読み聞かせ講座や、保護者向けの子どもの本の読書講座を実施した。 〔実施回数〕5回、〔参加者〕244人	男女関係なく子育てに関わる大人が参加できる講座等を実施することができた。今後も男女共同参画の視点を持って、講座等を実施する必要がある。	継続	中央図書館
139	社会教育関係団体のリーダーに対して男女共同参画に関する研修を充実します	社会教育関係団体等においてリーダー的立場で活躍しておられる方に、地域で活動していく際に身に付けていただきたい知識について学習する機会を提供するため、研修会を実施した。 〔実施事業名〕社会教育関係団体等リーダー研修会 〔実施日〕①令和元年11月21日、②24日 〔対象〕社会教育関係団体役員等 〔参加者〕①18人、②11人 〔テーマ〕 ①ふだんの生活に防災をプラスする ②子ども目線からの防災対策～元祖最年少防災士として～ 〔講師〕 ①（一社）プラスワン防災代表理事 坂本真理さん ②同専任防災士 坂本紫音さん 〔場所〕上中条青少年センター	防災士として活躍される講師から、女性、子どもの視点で「減災」として普段の生活に取り入れられること、防災における男女共同参画の必要性を学ぶことができた。 講師都合もあり休日での実施を試行したが、参加者数は伸びなかった。 事業の目的・意義、対象等について再度確認するとともに、様々な活動をされる各種団体に興味をもってもらえるテーマ・講師選定に努める。	継続	社会教育振興課
140	様々な学習機会にだれもが参加しやすいように、一時保育の実施や開催日時・場所等について工夫します。 また、子育て世代が講演会や審議会等へ参加できるように、関係課からの依頼により保育ボランティア等を派遣して一時的に子どもを預かる出前型一時保育を実施します	出前型一時保育を実施した。 〔実施事業名〕出前型一時保育 〔託児担当員派遣〕691件 〔一時保育〕2,145人	庁内だけでなく、登録団体への派遣等も十分対応できた。 昨年度に引き続き、新たに17名の託児担当員に子育て支援員の資格を取得させた。	継続	子育て支援課
141	ローズWAM等を活用して、女性の芸術や文化、ものづくり等の表現活動を支援します	多様な主体による生涯学習の機会を提供し、生涯学習の体験する機会を提供した。	引き続き、生涯学習センター主催事業・登録団体による、講座開催、舞台発表や作品展示の機会を提供し、来場者の生涯学習への参加・参画するきっかけ作りを提供する。	継続	文化振興課
		市民教室や市民サークル等の支援のため、ローズWAMまつりにおいて、踊りや歌、ダンス等の発表の場を提供した。 〔実施事業名〕第20回ローズWAMまつり 〔実施日〕令和2年2月8日、9日 〔参加者〕2,429人 〔内容〕講演会、各種ワークショップ、舞台発表等  地域で活動するサークル等に、活動の成果を発表する機会を提供した。 〔実施事業名〕たそがれコンサート 〔実施日〕毎月1回 〔参加〕計324人、10団体出演 〔内容〕ゴスペル、楽器演奏 他	まつり、たそがれコンサートともに、例年と同様の程度の参加者であった。たそがれコンサートについては、新しい出演者を優先して採用されていたりなど工夫を行っている。今後も、新たな参加者を募りつつ実施していきたい。	継続	人権・男女共生課

(具体的施策 54) 女性のチャレンジに関する情報提供と講座の開催

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
142	セミナーやイベントの企画・運営等の実践的な活動を通して、女性のエンパワーメント支援をします	<p>女性のチャレンジを応援するため、再就職応援セミナーを開催した。 〔実施日〕 令和元年12月15日、21日 〔参加者〕 のべ10人</p> <p>女性のチャレンジを支援するため、商工労政課と連携し、女性起業交流会を開催した。 〔実施日〕 平成30年12月2日 〔参加人数〕 7人</p> <p>男女共同参画に取り組む市民団体の活動を支援した。 【再掲 施策番号100】</p> <p>市民と協働し、ローズWAMまつりを開催した。 〔実施事業名〕 第20回ローズWAMまつり 〔実施日〕 令和2年2月8日、9日 〔参加者〕 2,429人 〔内 容〕 講演会、各種ワークショップ、舞台発表等</p>	講座の実施回数・参加人数は昨年度と比較して減少している。時代に合った内容、啓発方法を検討し、市民の方が参加したいと思う企画をたてる必要がある。	継続	人権・男女共生課
143	様々なチャレンジに関する情報を収集し、多様な媒体を通じて情報提供をします	<p>ローズWAMにおいて、男女共同参画に関する情報の収集、活用、提供を行った。 【再掲 施策番号121】</p>	図書等の貸出件数については、昨年度と横ばいの状況である。時代のニーズに合わせてSNS等さまざまな媒体を通じた情報の発信を検討する必要がある。	継続	人権・男女共生課
		<p>広報誌・ホームページ等を活用し、職業能力開発講座等、さまざまなチャレンジに関する情報提供を行った。</p>	広報誌・ホームページ等を活用し、さまざまなチャレンジに関する情報提供を行う。	継続	商工労政課
144	働く女性のための講座や、再就職を希望する女性のための講座等を開催します	<p>女性のチャレンジを応援するため、再就職応援セミナーを開催した。 【再掲 施策番号142】</p> <p>女性のチャレンジを支援するため、商工労政課と連携し、女性起業交流会を開催した。 【再掲 施策番号142】</p>	講座の実施回数・参加人数は昨年度と比較して減少している。時代に合った内容、啓発方法を検討し、市民の方が参加したいと思う企画をたてる必要がある。	継続	人権・男女共生課

144	働く女性のための講座や、再就職を希望する女性のための講座等を開催します	実践型勤労者スキルアップセミナー 〔実施日〕令和元年9月3日 〔参加者〕25人 〔テーマ〕若手社員のための基礎能力向上セミナー	勤労者向けの講座や就労支援のための講座を開催する。 子育て世代向けの就労支援フェアを実施する。 女性向け起業セミナーを実施する。	継続	商工労政課
		職業能力開発講座 【再掲 施策番号75】		継続	商工労政課
		子育て世代向け就労支援フェア 〔実施日〕令和元年5月30日 〔参加者〕65人 〔内容〕就労相談、福祉のお仕事相談、起業相談、職業適性診断、子どもの預り相談及び情報提供コーナー、「働き方」を考える上で知っておきたい「お金の話」セミナー		継続	商工労政課
		女性向け起業セミナー 【再掲 施策番号18】		継続	商工労政課

(具体的施策 55)子どもや若者のための学習や体験活動の推進

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
145	子どもたちが学習や体験活動を通して男女平等や男女共同参画について学べる機会を充実します	キッズスポーツデーを実施した。 〔実施日〕令和元年5月11日 〔対象者〕市内5歳～小学6年生 〔参加者数〕1304人 〔実施場所〕市民体育館、中央公園南・北グラウンド	事前申込を行うことで、実際の参加希望者数や参加者の地区を把握することができた。参加しづらい地区を減らすため、開催場所等を検討する。	継続	スポーツ推進課
		市民スポーツフェスティバルを実施した。 〔実施日〕令和元年11月23日 〔対象者〕市内在住・在勤・在学者 〔参加者数〕554人 〔実施場所〕市民体育館、東市民体育館、南市民体育館、水尾公園グラウンド、西河原公園屋内運動場	今年度から各市民体育館の無料開放を実施せず、参加者数が大きく減少したが、ディスコンなどニュースポーツの参加者は増加した。 今後もニュースポーツの普及を進め、ニュースポーツ大会や体験コーナーの更なる参加者増加を目指す。	継続	スポーツ推進課
		男女共同参画について学ぶ機会の提供として、夏のリコチャレ in ローズWAMを開催した。 〔実施日〕①令和元年8月4日 ②8月7日 ③8月11日 ④8月18日 〔内容〕①宇宙飛行士に挑戦！ ②石の秘密を発見！ ③ロケットってどうやって飛ぶの？ ④水飲み鳥をつくろう 〔参加人数〕①15人 ②12人 ③16人 ④16人	理系女子（リケジョ）の育成のため、将来の進路選択において、性別にとらわれない決定ができるよう、リケジョを意識した講座を開催した。申込・満足度ともに高い講座であった。今後も内容を精査して実施したい。	継続	人権・男女共生課

145	子どもたちが学習や体験活動を通して男女平等や男女共同参画について学べる機会を充実します	ユースプラザ事業において、園芸、調理実習、各種スポーツなどの社会体験を、男女の区別なく実施した。 〔開催回数〕 71回 〔のべ参加人数〕 497名	男女ともに参加できる社会体験を実施することができた。今後も、男女の区別なく社会体験を推進する。	継続	こども政策課
		市内8ヶ所の公立高校・中学校で、子育て中の親子と関わる機会をもつ「ふれあいまなび事業」を実施した。 【再掲 施策番号30】	各高校のカリキュラムや中学の実施計画により、実施回数は左右されるが、前年度よりも実施回数が増となった。	継続	子育て支援課
		公立幼稚園・公立認定こども園において、人権教育を推進するにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら日々の保育の中で取り組む。 公立保育所において、「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、日々の保育の中で取り組む。 【再掲 施策番号124】	様々な遊びや活動を通して、一人ひとりを大切にしながら、幼児同士が温かい人間関係を結んでいけるような仲間づくりに努めた。また、互いの良さや違いに気づき、認め合えるような保育・教育に努めた。	継続	保育幼稚園総務課
		子どもセミナーや青少年野外活動センターにおけるキャンプ指導を実施した。 〔実施事業名〕 ①子どもセミナー ②青少年野外活動センター主催キャンプ ③小学校自然宿泊体験学習受入 〔実施回数・参加者〕 ①50回/1,066人 ②11事業/2,879人③32校/2,947人	子どもセミナー等、子どもの学習や体験活動を支援する事業を実施したことで、様々な体験の場を提供することができた。 今後も実施内容・テーマを検討しながら開催する必要がある。 青少年野外活動センターでのキャンプは、グループ活動を通して子どもたちが仲間との協力や相手を思いやる心を育む場となっている。	継続	社会教育振興課
		固定的性別役割分担意識にとらわれない職場体験学習や野外体験活動を実施した。	職場体験学習や野外体験活動を通じて男女平等や男女共同参画について学ぶことができた。	継続	学校教育推進課
146	若者の自立に向けての支援をします	セクシュアルマイノリティに関する講座の開催に向け、大学生と連携した。	昨年度開催した「大学生が考えるセクシュアルマイノリティ報告会」の発展版のワークショップを今年度開催する予定で準備・検討をすすめていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく中止することとなった。次年度の開催に向けて、再度調整を進めていく。	拡充	人権・男女共生課

146	若者の自立に向けての支援をします	<p>子ども・若者を早期に支援し、早期困難解消をめざすとともに、支援する側・される側の負担軽減を図るため、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対し、各々の専門性を有する支援機関が必要に応じて連携し包括的に支援した。</p> <p>また、研修・講座等を開催し、支援ノウハウや情報共有の機会を提供した。 【再掲 施策番号92】</p>	<p>評価としては、子ども・若者支援地域協議会では、中高年のひきこもり支援体制の強化を図るため、令和元年7月からひきこもり部会を定期開催し、連携支援方策を検討・試行している。また、要保護児童対策地域協議会代表者会議と子ども・若者支援地域協議会代表者会議のオブザーバー参加を実施した。</p> <p>課題・改善方法としては、就労部門との連携が不十分であるため、今後はひきこもり部会に就労部門の支援機関を交えて連携支援策を検討する。</p>	継続	こども政策課
		<p>生きづらさを抱える子ども・若者の状態改善を図るため、茨木市子ども・若者自立支援センター「くろす」において、ひきこもり・ニート・不登校等の子ども・若者とその保護者の個別専門支援を実施した。また子ども・若者支援地域協議会の指定支援機関として、子ども・若者支援の主導的役割を担った。 (委託先)社会福祉法人ぼぼんがぼん 【再掲 施策番号92】</p>	<p>評価としては、茨木市子ども・若者自立支援センターを利用することで、本人の状態が改善された率が昨年度と比べ上昇した。また、子ども・若者自立支援センターの利用料無償化により保護者だけでなく当事者からの相談件数が増加した。</p> <p>課題・改善方法としては、子ども・若者自立支援センターの利用料無償化に伴い相談件数が大幅に増加しており、支援員の負担が増え、相談者も初回面談まで長期待機を余儀なくされている。その対応として、令和2年度の事業運営では支援員の配置人数を1名増員する。</p>	拡充	こども政策課
		<p>平成31年度から利用料を無償化した。 【再掲 施策番号92】</p>	<p>評価としては、子ども・若者自立支援センターの利用料無償化により保護者だけでなく当事者からの相談件数が増加した。</p> <p>課題・改善方法としては、利用料無償化を実現したため課題はなし。</p>	継続	こども政策課
		<p>貧困の連鎖を解消するため、学習会を市内5ブロック6か所で開催した。また、学習・生活支援員が家庭訪問を行い、家庭の生活状況や保護者と本人の事業利用意向を確認した上で、学習会に誘導した。保護者の生活相談も受け、必要な支援につないだ。 【再掲 施策番号92】</p>	<p>評価としては、児童扶養手当現況届時や卒業間近の小学生を対象に本事業を周知するなど、必要な生徒に支援がつながるように事業周知方法を拡充した。</p> <p>課題・改善方法としては、中学校、学習・生活支援事業所、学習・生活支援員は連携をとって動いているが、福祉支援については十分につながっていない。</p> <p>支援が必要な家庭に直接的な情報提供と手続きの支援を行うため、中学校、学習・生活支援事業所、学習・生活支援員間だけでなく、福祉支援を実施している担当部署と連携して動くことを検討する。</p>	継続	こども政策課

146	若者の自立に向けての支援をします	<p>目的としては、子ども・若者が地域で孤立することのないよう人とつながる場を創るとともに、関係機関等と連携して支援することで、子ども・若者の生きづらさの早期解消を図る。</p> <p>〔概要〕社会経験や相談ができる居場所「ユースプラザ」の5か所を開設した。子ども・若者支援に関わっている団体・組織と連携しながら取り組む。また、課題が複合的で支援困難なケースについては、子ども・若者支援地域協議会で早期支援・早期困難解消に向けて取り組む。 【再掲 施策番号92】</p>	<p>評価としては、複数のユースプラザの利用や、イベントなどの企画等、利用者の主体性の発揮や成長につながっている。</p> <p>課題・改善方法としては、各ユースプラザで学校や支援機関との連携に差異が生じている。支援につなぐきっかけとなるプログラムの充実を図る。</p>	継続	こども政策課
		<p>ハローワークや茨木商工会議所と連携し、就職サポート事業として、仕事なんでも相談、合同就職面接会等の就労支援を実施した。 【再掲 施策番号75】</p>	<p>ハローワークや茨木商工会議所と連携し、合同就職面接会など就労支援を実施する。</p>	拡充	商工労政課

(具体的施策 56) 生きる力を育む家庭での男女共同参画の推進

	施策内容	令和元年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
147	男女共同参画の視点に配慮した家庭教育学級の取組を推進します	<p>児童の保護者が家庭教育の重要性を認識し、子どもの育成に必要な知識と技術について学習するための学級を委託により開設する。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>親学習、人権の尊重、子どもの心とからだの健康等をテーマとした学習会や交流会を、各学級が自主的に企画・実施した。保護者がつながり、ともに学ぶ場となっている。</p>	継続	社会教育振興課
148	家庭教育学級指導者に対して男女共同参画に関する情報提供や研修の機会を充実します	<p>社会教育関係団体等においてリーダー的立場で活躍しておられる方に、地域で活動していく際に身に付けていただきたい知識について学習する機会を提供するため、研修会を実施した。 【再掲 施策番号139】</p>	<p>防災士として活躍される講師から、女性、子どもの視点で「減災」として普段の生活に取り入れられること、防災における男女共同参画の必要性を学ぶことができた。</p> <p>講師都合もあり休日での実施を試行したが、参加者数は伸びなかった。</p> <p>事業の目的・意義、対象等について再度確認するとともに、様々な活動をされる各種団体に興味をもってもらえるテーマ・講師選定に努める。</p>	継続	社会教育振興課

149	男女共同参画の視点に配慮した家庭での教育の推進ができるように子育て中の男女への学習機会を確保します	地域子育て支援センターやつどいの広場において、子育て講座を実施する。	地域子育て支援センター及びつどいの広場では、多様なニーズに合わせた様々な子育てに関する講座を実施し、子育て家庭へ学習機会を提供することができた。	継続	子育て支援課
		男性の子育てを推進するための事業「パパスクール」を業務委託によって実施した。 【再掲 施策番号29】	参加者は、意欲が高く積極的に取り組むが、テーマ「親子遊び」以外は参加者が極端に少なく、父同士の交流等を図ることが困難であった。今後は、パパスクールの廃止し、知って得する子育て講座の中で、単発のテーマとして実施する。	継続	子育て支援課
		「家庭教育講座」・「親まなびおでかけ講座」等、保護者（男女問わず）を対象に家庭での子育てや教育に関する講座を実施した。 【再掲 施策番号30】	家庭教育に関する学習の機会を提供できた。今後も、現代的課題や社会情勢の変化に応じた事業となるよう、検討していく。	継続	社会教育振興課
		社会教育関係団体等においてリーダー的立場で活躍しておられる方に、地域で活動していく際に身に付けていただきたい知識について学習する機会を提供するため、研修会を実施した。 【再掲 施策番号139】	防災士として活躍される講師から、女性、子どもの視点で「減災」として普段の生活に取り入れられること、防災における男女共同参画の必要性を学ぶことができた。 講師都合もあり休日での実施を試行したが、参加者数は伸びなかった。事業の目的・意義、対象等について再度確認するとともに、様々な活動をされる各種団体に興味をもってもらえるテーマ・講師選定に努める。	継続	社会教育振興課

